

年頭のあいさつ

《市長コメント》

平成27年の年頭に当たり、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

東日本大震災から、まもなく4年が経過しようとしておりますが、いまだに長く住み慣れた地域を離れて不自由な生活を余儀なくされ、今なお、これからの暮らしに不安を抱かれている多くの皆さまに対し、心からお見舞い申し上げます。また、復旧・復興事業を推進する中、市民の皆さまから多大なるご協力をいただいておりますことに心より感謝申し上げます。

昨年は、震災により住宅を失った方々のための賃貸住宅である復興公営住宅への入居が始まり、蛇田、渡波地区の土地区画整理事業における宅地供給や、離半島部における防災集団移転事業での宅地の引き渡しが始まるなど、生活再建の基礎となる「住まいの再建」が本格化することとなりました。また、市立病院の再建については、昨年10月に起工式を執り行い、医療体制の整備にも第一歩を踏み出しました。さらには、水産物地方卸売市場石巻売場が昨年8月に一部供用を開始し、石巻の基幹産業である水産業についても、さらなる発展に向かって進む体制が整いつつあります。

本年は、昨年に引き続き、復興公営住宅が順次完成し入居が進むとともに、土地区画整理事業における宅地の供給や、防災集団移転事業での

宅地引き渡しも順次行われる予定であり、さらには、今夏には仙石線の全面復旧も予定されているなど、生活基盤の復旧・復興が加速化していくこととなり、ようやく復旧・復興を実感できるステージに至りつつあります。今後も多くの課題を乗り越えていかなければなりません。断固たる決意をもって復旧・復興事業に取り組んでまいります。

平成27年の新たな年を迎え、これまで以上にふるさと石巻の更なる発展に向けて全力を尽くしてまいりますので、より一層のご理解とご協力をお願い申し上げますとともに、市民の皆さまのご多幸を心からお祈り申し上げまして、年頭のごあいさつといたします。